



こうせい



平成25年9月1日発行

当院では、平成25年5月よりTMS(経頭蓋磁気刺激)治療を開始しています

TMS治療について

脳卒中の後遺症は、発症後およそ半年を越えてしまうと、リハビリテーションを行っても効果が得られず、麻痺の回復はもうそれ以上は望めないと考えられています。そのため歩くことは出来ても、麻痺側の手は使えないという患者様が大勢いらっしゃいます。

しかし近年、そのような患者様に対するTMS治療(経頭蓋磁気刺激治療)を行うことにより、たとえ脳卒中発症後数年が経過していても手の麻痺の改善が見込める治療法が、新たに注目されています。

今回は、TMS治療の流れや実際の風景をご紹介します。



1

8の字型のコイルを用いて、磁気刺激を病巣の反対側に20分間当てます。(ぱちぱち音がしますが、痛みはありません。リクライニング車椅子に座っているので楽に治療を受ける事が出来ます。)



3

その後は、60分間の自主訓練を行います。患者様の状態に合わせて、担当療法士が訓練内容を一緒に考えて行います。これらを1日2回(午前・午後)、二週間受けます。また全ての治療は入院(15日間)して行います。



2

TMS後は、セラピストによる60分間のリハビリを行います。入院時にどれくらい上肢・手指が動くか、どれくらい麻痺側を使っているかなど、初回と最終時に評価を行います。

現在、TMS治療・ボツリヌス療法にあたって、東京慈恵会医科大学病院より角田亘先生に来て頂いています。



東京慈恵会医科大学病院・リハビリテーション医学講座・准教授
医学博士 角田 亘 先生

「新しい治療機器であるTMSを用いることで、患者様皆さまの機能回復の可能性を、最大限に引き出したいと思います。」

- ご希望の方は、まず当院にて診察を受けて頂く必要がございます ●●
- 角田先生の診察は、隔週土曜日で予約制となっています。
- 診察予約を希望される方は下記までお電話でお問い合わせ下さい。
- (※なお診察結果により適応外となる場合もありますのでご了承下さい。)

TMS・ボツリヌス療法専用回線 ☎ 078-950-2055 (平日9時~17時)

『あきらめない！脳卒中後遺症片麻痺へのリハビリテーション』 ～最新治療「TMS」「ボツリヌス治療」を知っていますか～

●『最新の脳卒中リハビリテーションについて』 Part 1, Part 2

講師 東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座
准教授 角田 亘 先生

●『当院における TMS 治療の流れと取り組み』 医療法人社団六心会 恒生病院 リハビリテーション課

【日時】平成25年9月28日(土)
14:00～16:00(開場13:30)
【場所】三田市駅前『キッピーモール』
〒669-1528 三田市駅前町2番1号

詳細についてはお電話又はFAXにて承ります
TEL(078)950-2622 FAX(078)950-2623



交通のご案内

電車でお越しの方・・・

三宮方面からは神戸電鉄「谷上」駅より、三田方面からは神戸電鉄「三田」駅より「道場南口」駅下車、すぐ。

お車でお越しの方・・・

中国自動車道「西宮北」インターを降り、有馬街道を三田方面へ約2km。

* 駐車場のご利用について *

病院東側に契約駐車場がございますのでこちらをご利用下さい。
(診察を受けられた方に限り、駐車券を病院会計までお持ち頂くと3時間まで100円となる割引サービス処理を致します。)

外来担当医表

平成25年9月より

【受付時間】午前診 8:30～11:30 夜間診 17:00～18:30

		月	火	水	木	金	土
午前診 9:00～	1診 (脳外予約)	田村	森	田村	頃末	古瀬	古瀬/森/奥田/ 田村 交替制
	2診 (脳外)	森	水田	頃末	池田	田村	田村/頃末/森 交替制
	3診 (整形)	角谷	脇	小林	河本	小林	高山
	4診 (内科)	飯尾		藤田	飯尾	藤田	
	4診 (脳外予約)	頃末	奥田				
	5診 (脳外初診)	水田	古瀬	森	田村	頃末	
午後予約診			奥田	奥田	水田		
夜間診 17:00～	1診 (脳外)	森	水田	石井	田村	今堀	
	2診 (脳外)		※1 頃末		池田		
	2診 (内科)	飯尾		岡野		藤田	

※1 火曜の夜間診療の頃末は予約制となります。

★ 1診は予約の方のみとなります。予約診の受診方法については、受付にてご確認ください。
★ 救急搬送や緊急手術などにより、急な変更がある場合がございますのでご了承下さい。

脳外科診は患者さまが多く大変混み合います。再診を受けられる方は、『予約診』での受診をおすすめいたします。

患者の権利と義務

全ての患者は個人として人格と価値観を尊重され、医療従事者との信頼、相互協力関係のもとで誠実な医療、看護を受ける権利を有しています。そのため恒生病院では患者の権利とそれに伴う義務を定めています。

権利

1. 良質な医療を平等に受ける権利
患者は誰でも社会的地位、民族、国籍、宗教、障害の有無によることなく最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 十分な説明と情報を得る権利
患者は自分が受ける治療や検査に関して分かりやすい言葉で十分に理解できるまで説明や情報の提供を受ける権利があります。
3. 自己決定する権利
患者は十分な説明と情報提供を受け、医師や病院の選択、治療方法を自ら決定する権利があります。
4. 自分が受けた医療について知る権利
患者は自分の病気や受けた治療について知る権利があり、カルテの開示などを求める権利があります。
5. 個人情報を守られる権利
患者は診療に関する個人情報やプライバシーを厳しく守られる権利があります。

義務

6. 患者は自身の健康状態や考え方を医療従事者に正確に伝えてください。
8. 患者は他の患者の治療や療養生活に支障をきたさないようにしてください。

無料送迎バス

病院から無料送迎バスの運行もございます。
送迎ルートや時刻表については、直接病院総合受付窓口までお問い合わせ下さい。(代)078-950-2622

恒生病院の理念と方針

理念

誠実な医療・介護を通じて社会に貢献する

方針

- ・脳神経外科を中心とした救急医療に情熱を持って取り組み、地域医療に貢献します。
- ・患者さまの尊厳を守り人権を尊重し、安心して安全な医療・介護を提供します。
- ・絶えず新しい知識と高度な技術の習得に努め、地域から信頼される施設を目指します。
- ・職員一人一人が生きがいとやりがいを持って全人格を医療・介護に捧げられる職場を実現します。
- ・法規範を遵守し、開かれた施設として情報を公開し、第三者評価を積極的に受け入れます。

施設管理者(院長) 古瀬 繁

NEWS! ▶▶▶

内科医師(常勤)が2名となりました☆

この度、平成25年7月から1名、9月から1名の内科医師が常勤医として勤務することとなりました。お二方の医師のご紹介をさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します！

飯尾元彦医師



平成25年7月より一般内科医として勤務しております。脳卒中に至る基礎疾患には高血圧、糖尿病、高脂血症などがあげられますが、脳卒中予防のためには、これらの動脈硬化のもととなる病気をコントロールすることが非常に大切です。また発症後の再発予防も非常に重要であり、内科的役割は大きいと考えます。

超高齢化社会の到来に伴い、運動不足、食生活の変化などにより生活習慣病は確実に増えていくと思われまます。日常の生活習慣の改善点を内科的な視点から患者さん、そのご家族の方と一緒に考えていき、北神戸の地域医療に微力ながら貢献できたらと思っています。

藤田義行医師



9月から内科医師として赴任いたします藤田義行と申します。少し自己紹介をさせていただきますと、卒後3年間の研修医時代は救急を中心とした野戦病院にいました。そこでは、自分がお看取りした患者さまを、自分で病理解剖する必要があります。年間100例近い方を自らの手でお見送りし、終末期医療を沢山経験いたしました。

その後は、東京で神経内科を研鑽した後、神戸に戻りポートアイランドの先端医療センターで胚性肝細胞の基礎研究の傍ら、内視鏡のアルバイトで生計を立てておりました。試行錯誤の中、内視鏡が一番肌に合うと感じ、その後は西明石の病院で大腸カメラを中心にトレーニングを積みまました。

最近思うのは、重篤な患者様、神経難病、終末期医療の現場では本当に医療は無効です。

他方で、若いうちから予防的な医療を施すことで未来を変えることができます。大腸で言えば前癌病変であるポリープを摘んでおくことで癌が予防できます。動脈硬化を防ぐことで将来の脳卒中を回避できる可能性があります。医療が一番力を発揮できるのは予防的なタイミングなのです。

こちらでお仕事させていただく中で、そうした将来を見越した予防的な医療に力を入れていきたいと考えております。

H25年9月より～

■ 藤田医師の外来診察日 (午前)

月	火	水	木	金
	△※	○		○

※予約のみ(胃カメラ)

■ 飯尾医師の外来診察日 (午前)

月	火	水	木	金
○			○	

このコーナーでは、近隣地域の開業医・診療所・病院などをご紹介します

病診・病病連携

紹介ファイル vol.8

ふくだクリニック



院長：福田康文 先生

今回は、当院の最寄駅である神戸電鉄「道場南口」駅ロータリー内に開院されました、ふくだクリニックさんをご紹介します。

「5月1日に神鉄道場南口駅ロータリー内に開院しました、ふくだクリニックです。風邪、腹痛などの一般的治療から生活習慣病の治療、消化器疾患、痔日帰り手術、注射療法、経鼻内視鏡検査、傷などの一般外科治療、往診、予防接種を行っております。検査、治療を恒生病院にサポートしていただき、共に地域の皆様に貢献できればと考えております。よろしくお願ひします。」

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
16:00~19:00	○	○	○	×	○	×	×

診療科目 ◆ 消化器内科、肛門外科、外科
 住 所 ◆ 神戸市北区道場町日下部字才谷 1835
 (神鉄道場南口駅下車徒歩5分)
 電 話 ◆ 078-952-5252

発信：地域医療連携室

企画・実行/広報委員会

報告

あじさいコンサートを開催しました

平成25年6月8日(土)に院内音楽会「あじさいコンサート」を開催致しました。

今回ご出演頂いたのは、プロのサクソ奏者である梶田勇様です。迫力のあるサクソの音色と、誰もが一度は聞いたことのある曲に、皆様を体揺らしながら楽しんでおられました。

当院スタッフの尾上(臨床検査技師)も一緒に出演し、素晴らしい演奏を聞かせて下さいました。



会場となる1F待合ロビーはいつも満員！



右：梶田様 左：尾上さん

素敵な時間をありがとうございました！



回復期病棟がオープンして 5ヶ月が経ちました

平成25年4月に回復期リハビリテーション病棟が開床して、約5ヶ月が経ちました。

急性期病棟と違い一日も休まずリハビリを継続する事の効果も大きく、また病院内だけでなく、屋外歩行や買い物、調理、公共交通機関の利用など、社会復帰を見据えた実生活に即したリハビリを行っています。



リハビリテーションスタッフ：「笑顔で取り組みます！」

回復期病棟の様子



日々のリハビリの合間には、カラオケやボーリング、魚釣りなどのレクリエーションも取り入れ、仲間作りや気分転換の時間も大切にしています。

そんな充実した日々を過ごされ、多くの方が笑顔で自宅へと帰られています。

- 1 入院患者様と一緒に作った七夕の短冊と笹飾り
- 2 職員手作りのボーリング大会
- 3 手先の感覚に集中して取り組む魚釣りゲーム
- 4 5 紙風船パレオの様子

※患者様のお写真は掲載の許可を頂いております



あなたの骨は大丈夫？

こつそしょうしょう
～骨粗鬆症について～

Q. どんな病気なの？

A. 骨がスカスカになってしまいう病気です

骨粗鬆症は、長年の生活習慣などにより骨がスカスカになって弱くなる病気です。骨粗鬆症になっても最初は何の症状もありませんが、そのうち腰や背中が痛くなったり、曲がったりしてきます。ひどくなると骨折を起こして寝たきりの原因にもなります。

寝たきりの原因の第1位が脳卒中、第2位が老衰、第3位が骨粗鬆症による骨折であることから、高齢社会が抱える問題の一つとなっています。

Q. どうなってしまうの？

A. 骨折しやすくなります

一番の問題点は骨折しやすくなるということです。特に負担のかかる大腿骨の骨折が深刻な問題です。高齢者は敏捷性に欠け、骨も老化のためにもろいので骨折しやすいと、誰もが漠然と考えています。ところが、「ちよつと廊下で滑った」とか「布団につまづいた」といったような、ふつうでは骨折するはずがないような、家庭内のちよつとした事故が骨折の原因の多くを占めている現実はまだ知られていません。骨粗鬆症では、そこまで骨がもろくなってくるのです。

早期発見のために

骨粗鬆症が病気として診断されるのは骨密度検査などで問診や骨量測定を始めてはじめて・・・という場合が多くあります。骨粗鬆症は、自覚症状が無く進行していきます、ちよつとしたつまづきなどをきっかけに折れてしまうという点がやっかいな病気です。

すべての年齢に当てはまることですが予防に勝る治療はありません。気が付いた時に始めるのが一番です。半年～1年の間隔をあけて骨量測定を行えば、実際にその間の骨の変化が分かり、「今回も引き続き骨量が減少しているか？」「今までの生活で大丈夫なのか？」を判断することが出来ます。各年代で骨の状態を把握することで、食生活や運動などの生活上の注意を行った予防や早期治療が始められます。

あなたの骨の健康度をチェック！

当院は最新鋭の
骨密度測定装置を導入しています

↓骨密度測定装置



検査時間は
約10分と簡単です。
お気軽に
スタッフまで
お申し付け下さい！

放射線画像診断室